

愛の奴隷 (1976)

A SLAVE OF LOVE
РАБА ЛЮБВИ
A SLAVE OF LOVE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ソ連
時間 93分
初公開日 1982/04
公開情報 日本海

【解説】

この頃のミハルコフはよかった。本質的に日和見主義の彼は、この映画の主人公の女優オリガや、「オブローモフの生涯より」のオブローモフのようにノンポリで自己完結型の人物を描くと非常に冴える。ソ連という巨大な閉鎖社会で棄権票の抵抗をしてるうちはよかったが……。とにかく、この作品は映画製作を描く映画としても感動的だ。’18年の革命混乱期、赤軍と白軍の内戦が続く中、オリガは“愛の奴隷”という映画に出演中、カメラマンのポトツキーと親しくなる。彼は共産党員で貴族的生活を尊び、現在のロシアを嘆いては昔の映画の思い出話に耽けるオリガとは、とても合いそうにない男なのだが……。やがて、革命の波はロケ地の黒海沿岸まで押し寄せてくる。映画史に残る“走る”ラストシーンと、華麗な男遍歴があるわりに純真なヒロインを演じるエレナ・ソロヴェイが、すこぶるつきで素晴らしい。

【クレジット】

監督	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov
脚本	フリードリフ・ゴレンシュテイン アンドレイ・ミハルコフ＝コンチャロフスキー	Andrei Mikhalkov-Konchalovskii
撮影	パーヴェル・レーベシエフ	Pavel Lebeshev
音楽	エドゥアルド・アルテミエフ	Eduard Artemyev
出演	エレナ・ソロヴェイ ロジオン・ナハペトフ アレクサンドル・カリヤーギン オレーグ・バシラシヴィリ コンスタンティン・グリゴリエフ ユーリー・ボガトイリョフ	Elena Solovei Rodion Nakhapetov Aleksandr Kalyagin Oleg Basilashvili Yurii Bogatylyov